

第6期計画の進捗状況

◇：取り組み状況 ◆：今後の課題

(1) 重点課題1 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進

施策	全事業数	目標値設定項目数	達成率			
			100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
ア 在宅医療・介護連携の充実	1	0	-	-	-	-
イ 介護保険サービスの充実	29	43	16	11	10	6
ウ 介護予防の推進	7	12	6	1	1	4
エ 社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充	21	5	0	3	0	2
オ 住まいの整備・充実	5	1	1	0	0	0
カ 介護予防・日常生活支援総合事業の推進	1	1	0	0	0	1
キ 認知症施策の推進	9	17	6	3	1	7
ク 高齢者虐待の防止	1	0	-	-	-	-
ケ 地域包括支援センターの運営強化	5	13	6	1	2	4
合計	79	92	35	19	14	24
			(38.0%)	(20.7%)	(15.2%)	(26.1%)

ア 在宅医療・介護連携の充実

- ◇ 在宅医療と介護サービスを一体的に提供できるよう、意見交換、多職種間のネットワーク構築等、情報の共有と連携強化を推進していくため、在宅ケア便利帳の作成や在宅医療連携会議、医療・介護関係者の研修等の開催等に取り組みました。
- ◆ 今後は、在宅療養に関する医療や介護の情報を一元的に管理できる仕組みづくりを行うことや、様々な職種間で協議する機会や研修等を行うことにより関係機関の連携強化が必要です。また、在宅医療・介護連携の推進について、広く市民に周知することが必要です。

イ 介護保険サービスの充実

- ◇ 在宅における重症者を中心とした医療ニーズの高まりから、医療系サービス等において計画値を上回った一方、施設サービスは計画値を下回っています。
地域密着型サービスは、利用者やケアマネジャー等への普及啓発や制度の理解が進まなかったことから、利用の促進につながらず、計画値を下回っています。
- ◆ 居宅サービスについては、引き続き、利用者ニーズに対応し、必要なサービスが適切に提供できる体制を確保していくことが必要です。
- ◆ 地域密着型サービスについては、引き続き、必要なサービスを適切に提供できる体制を確保するとともに、サービスの普及促進を図っていくことが必要です。
- ◆ 施設サービスの介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)については、引き続き適切な提供に努めるとともに、介護離職への対応の観点から入所待機者の解消を図ることが必要です。
介護老人保健施設については、地域包括ケアを推進する観点から、在宅復帰支援・在宅療養支

援機能を有するサービスが適切に提供できる体制を確保が必要です。

介護療養型医療施設については、新たなサービスへの転換の動向も見極めながら、必要なサービスが適切に提供できる体制の確保が必要です。

- ◆ 地域支援事業の介護給付等費用適正化事業については、介護保険事業の持続的な運営を図るため、引き続き、事業を推進する必要があります。
- ◆ 介護相談員派遣等事業については、利用者の利便性やサービスの質的向上を図るため、事業の普及促進に努める必要があります。

【居宅サービス給付実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度	
		計画値 実績値 計画比	計画値 実績値 計画比	達成率 (計画比)	
訪問介護(介護・予防給付)	訪問介護(回/月)	86,297 60,492 70.1%	92,729 61,293 66.1%	△50%以上 80%未満	
	介護予防訪問介護(人/月)	1,438 1,422 98.9%	739 1,242 168.1%	◎(100%以上)	
訪問入浴介護(介護・予防給付)	訪問入浴介護(回/月)	1,014 899 88.7%	1,052 717 68.2%	△50%以上 80%未満	
	介護予防訪問入浴介護(回/月)	- 0.25 -	- 0 -	-	
訪問看護(介護・予防給付)	訪問看護(回/月)	6,151 5,591 90.9%	7,264 6,334 87.2%	○80%以上 100%未満	
	介護予防訪問看護(回/月)	399 99 24.8%	891 122 13.7%	▽50%未満	
訪問リハビリテーション(介護・予防給付)	訪問リハビリテーション(回/月)	2,881 1,310 45.5%	3,251 1,471 45.2%	▽50%未満	
	介護予防訪問リハビリテーション(回/月)	85 29 34.1%	127 41 32.3%	▽50%未満	
居宅療養管理指導(介護・予防給付)	居宅療養管理指導(人/月)	2,192 2,493 113.7%	2,434 2,932 120.5%	◎(100%以上)	
	介護予防居宅療養管理指導(人/月)	34 41 120.6%	32 57 178.1%	◎(100%以上)	
通所介護(介護・予防給付)	通所介護(回/月)	61,823 64,252 103.9%	35,658 52,178 146.3%	◎(100%以上)	
	介護予防通所介護(人/月)	2,298 2,193 95.4%	1,322 1,998 151.1%	◎(100%以上)	
通所リハビリテーション(介護・予防給付)	通所リハビリテーション(回/月)	18,825 17,970 95.5%	19,431 18,310 94.2%	○80%以上 100%未満	
	介護予防通所リハビリテーション(人/月)	644 605 93.9%	662 631 95.3%	○80%以上 100%未満	
短期入所生活介護(介護・予防給付)	短期入所生活介護(日/月)	24,338 26,723 109.8%	27,478 28,310 103.0%	◎(100%以上)	
	介護予防短期入所生活介護(日/月)	65 72 110.8%	128 86 67.2%	△50%以上 80%未満	
短期入所療養介護(介護・予防給付)	短期入所療養介護(日/月)	468 725 154.9%	339 647 190.9%	◎(100%以上)	
	介護予防短期入所療養介護(日/月)	- 2 -	- 4 -	-	
特定施設入居者生活介護(介護・予防給付)	特定施設入居者生活介護(人/月)	666 693 104.1%	669 694 103.7%	◎(100%以上)	
	介護予防特定施設入居者生活介護(人/月)	40 38 95.0%	38 38 100.0%	◎(100%以上)	
	混合型特定施設入居者生活介護(人/月) (予防給付も含む)	661 686 103.8%	662 689 104.1%	◎(100%以上)	
福祉用具貸与(介護・予防給付)	福祉用具貸与(人/月)	6,067 6,531 107.6%	6,292 6,865 109.1%	◎(100%以上)	
	介護予防福祉用具貸与(人/月)	1,100 1,198 108.9%	1,208 1,375 113.8%	◎(100%以上)	
特定福祉用具購入費の支給(介護・予防給付)	特定福祉用具購入費(人/月)	130 118 90.8%	140 107 76.4%	△50%以上 80%未満	
	特定介護予防福祉用具購入費(人/月)	52 40 76.9%	54 35 64.8%	△50%以上 80%未満	
住宅改修費の支給(介護・予防給付)	住宅改修費(人/月)	100 101 101.0%	105 96 91.4%	○80%以上 100%未満	
	介護予防住宅改修費(人/月)	54 50 92.6%	55 45 81.8%	○80%以上 100%未満	
居宅介護支援(介護・予防給付)	居宅介護支援(人/月)	10,888 11,109 102.0%	11,238 11,433 101.7%	◎(100%以上)	
	介護予防支援(人/月)	4,057 3,992 98.4%	2,800 3,829 136.8%	◎(100%以上)	

【地域密着型サービス給付実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度		
		計画値	実績値	計画値	実績値	達成率 (計画比)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護(介護給付)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護(人/月)	25	16	88	21	▽50%未満
		64.0%	23.9%			
		149	177	152	169	
夜間対応型訪問介護(介護給付)	夜間対応型訪問介護(人/月)	118.8%	111.2%			◎(100%以上)
認知症対応型通所介護(介護・予防給付)	認知症対応型通所介護(回/月)	3,176	2,663	3,545	2,387	△50%以上 80%未満
		83.8%	67.3%			
		0	0	0	0	
介護予防認知症対応型通所介護(回/月)	介護予防認知症対応型通所介護(回/月)	-	8	-	8	-
		265	258	277	244	○80%以上 100%未満
		97.4%	88.1%			
30	15	30	14			
小規模多機能型居宅介護(介護・予防給付)	小規模多機能型居宅介護(人/月)	50.0%	46.7%			▽50%未満
		864	828	870	839	
		95.8%	96.4%			
認知症対応型共同生活介護(介護・予防給付)	認知症対応型共同生活介護(人/月)	3	1	3	2	△50%以上 80%未満
		33.3%	66.7%			
		12	7	12	12	
地域密着型特定施設入居者生活介護(介護給付)	地域密着型特定施設入居者生活介護(人/月)	58.3%	100.0%			◎(100%以上)
看護小規模多機能型居宅介護(介護給付)	看護小規模多機能型居宅介護(人/月)	28	30	48	29	△50%以上 80%未満
		107.1%	60.4%			
		-	0	30,375	15,832	
地域密着型通所介護(介護・予防給付)	地域密着型通所介護(回/月)	-	-	-	52.1%	△50%以上 80%未満
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(介護給付)	地域密着型特定施設入居者生活介護(人/月)	0	0	0	0	-

【施設サービス給付実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度		
		計画値	実績値	計画値	実績値	達成率 (計画比)
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)(介護給付)	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)(人/月)	1,647	1,561	1,647	1,589	○80%以上 100%未満
		94.8%	96.5%			
		1,122	1,085	1,210	1,083	
介護老人保健施設(介護給付)	介護老人保健施設(人/月)	96.7%	89.5%			○80%以上 100%未満
介護療養型医療施設(介護給付)	介護療養型医療施設(人/月)	163	156	163	155	○80%以上 100%未満
		95.7%	95.1%			

【地域支援事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度		
		計画値	実績値	計画値	実績値	達成率 (計画比)
介護給付等費用適正化事業	給付費通知発送件数(年間延件数)	64,677	67,274	74,865	64,456	○80%以上 100%未満
		104.0%	86.1%			
		72	40	72	27	
住宅改修支援事業	住宅改修理由書作成補助件数(件)	55.6%	37.5%			▽50%未満
介護相談員派遣等事業	派遣受入事業所数(か所)	20	14	35	20	△50%以上 80%未満
		70.0%	57.1%			

ウ 介護予防の推進

- ◇ 「指定介護予防支援」を除き、計画値に達していない理由は、制度改正により、事業が終了したためです。
- ◆ 今後は、利用者が自立支援を主体的に取り組むための介護予防ケアマネジメントの向上を図る必要があります。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度	平成28年度	
		計画値 実績値 計画比	計画値 実績値 計画比	達成率 (計画比)
二次予防事業対象者把握事業	70～79歳の高齢者の把握率(%)	100	100	-
		67.7	0	
		67.7%	-	
介護予防ケアマネジメント	要介護(要支援)認定率(%)	21.5	21.8	◎(100%以上)
		21.1	20.9	
	101.9%	104.3%	▽50%未満	
	2,600	4,600		
介護予防ケアマネジメント数(件)	2,189	1,390	▽50%未満	
	84.2%	30.2%		
はつらつ介護予防教室(通所型介護予防事業)	要介護(要支援)認定率(%)	21.5	21.8	◎(100%以上)
		21.1	20.9	
	101.9%	104.3%	▽50%未満	
	2,500	5,800		
介護予防に取り組む人の数(人)	2,120	1,362	▽50%未満	
	84.8%	23.5%		
訪問型介護予防事業	要介護(要支援)認定率(%)	21.5	21.8	◎(100%以上)
		21.1	20.9	
	101.9%	104.3%	▽50%未満	
	4	5		
訪問型介護予防に取り組む人の数(人)	0	0	▽50%未満	
	0.0%	0.0%		
はつらつ介護予防教室継続教室	要介護(要支援)認定率(%)	21.5	21.8	◎(100%以上)
		21.1	20.9	
	101.9%	104.3%	▽50%未満	
	1,710	3,700		
介護予防に取り組む人の数(人)	1,601	1,085	▽50%未満	
	93.6%	29.3%		
指定介護予防支援	要支援認定者数(人)	6,173	6,553	◎(100%以上)
		6,053	6,110	
	102.0%	107.3%	◎(100%以上)	
	4,057	2,800		
	介護予防支援(人/月)	4,031	3,029	◎(100%以上)
		99.4%	108.2%	
新しい総合事業利用者(人/月)	-	1,505	△50%以上 80%未満	
	0	1,017		
-	67.6%	○80%以上 100%未満		
87.0	87.0			
サービス利用者の維持改善率(%)	85.0	85.3	○80%以上 100%未満	
	97.7%	98.0%		

エ 社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充

- ◇ 計画値に達していない主な理由は、高齢者特別あんしん見守り事業については、見込みより申請数が少なかったため、たかまつ介護相談専用ダイヤルについては、制度の周知が十分ではなかったことがあげられます。
- ◆ 高齢者の社会参加は、高齢者自身の生きがいにつながり、また、介護予防や閉じこもり防止にもなることから、今後も積極的に取り組む必要があります。
- ◆ 今後も、広報紙やホームページなどを活用し、制度の周知に努める必要があります。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度		
		計画値	実績値	計画値	実績値	達成率 (計画比)
高齢者特別あんしん見守り事業	登録者数(人)	70	70	70	70	
		8	10	11.4%	14.3%	
		11.4%	14.3%			
地域で支えあう見守り活動に関する協定	見守りに関する協定締結事業者数	70	75	70	75	○80%以上 100%未満
		70	69	100.0%	92.0%	
		100.0%	92.0%			
高齢者居場所づくり事業	居場所開設数(か所)	214	300	188	240	○80%以上 100%未満
		188	240	87.9%	80.0%	
		87.9%	80.0%			
シルバー人材センター	シルバー人材センター会員数(人)	2,002	2,067	1,854	1,812	○80%以上 100%未満
		1,854	1,812	92.6%	87.7%	
		92.6%	87.7%			
たかまつ介護相談専用ダイヤル	相談件数(件)	2,000	2,000	311	311	▽50%未満
		311	311	15.6%	15.6%	
		15.6%	15.6%			

オ 住まいの整備・充実

- ◇ 高齢者住宅等安心確保事業の平成28年度の実績値は計画値に達しています。
- ◆ 今後は、市民に適切な情報提供を行うとともに、関係機関と連携して高齢者の居住環境の充実、安全性の向上を図る必要があります。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度		
		計画値	実績値	計画値	実績値	達成率 (計画比)
高齢者住宅等安心確保事業	生活援助員の派遣人数(人)	4	4	4	4	
		4	4	100.0%	100.0%	
		100.0%	100.0%			

カ 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

- ◇ 計画値に達していない主な理由は、平成28年10月に新しい総合事業が開始されたことに伴い、協議体会議の開催回数は1回となったためです。
- ◆ 今後は、従来と同等のサービスを提供しつつ、多様なサービスへの事業所等の参画や利用者の利用促進を図るとともに、担い手の確保に向けた取組が必要です。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度		
		計画値	実績値	計画値	実績値	達成率 (計画比)
生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業	協議体会議開催回数(回)	6	3	4	1	
		4	1	66.7%	33.3%	
		66.7%	33.3%			

キ 認知症施策の推進

- ◇ 計画値に達していない主な理由は、新規事業のため、推計値で見込みを設定したものもあり、そうしたことが乖離の原因と考えられます。
- ◆ 今後は、認知症の方を地域で見守り、支援していくために、より多くの方に認知症への理解等の周知を行うとともに、認知症サポーターについても講座を受講するだけでなくより実践的に活動できる仕組みづくり等が必要です。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度		達成率 (計画比)
		計画値	実績値	計画値	実績値	
認知症ケアパスの普及	認知症ケアパス揭示場所数(か所) (新規)	1,300	200	1,298	2	▽50%未満
		99.8%	1.0%			
	認知症ケアパス設置数(か所) (新規)	1,500	150	1,276	152	◎(100%以上)
		85.1%	101.3%			
	認知症ケアパス配布枚数(枚)	40,000	5,000	28,000	6,160	◎(100%以上)
		70.0%	123.2%			
認知症初期集中支援チーム設置・運営	訪問数(実人数)(人)		45		6	▽50%未満
					13.3%	
	訪問件数(延べ件数)(件)		150		19	▽50%未満
					12.7%	
物忘れ・認知症相談事業	開催回数(回)	24	24	24	24	◎(100%以上)
		100.0%	100.0%			
	相談人数(人)	96	96	69	85	○80%以上 100%未満
		71.9%	88.5%			
認知症地域支援推進員の配置	認知症地域支援推進員の配置数(人)	8	8	4	7	○80%以上 100%未満
		50.0%	87.5%			
	認知症に関する相談件数(件)	1,450	1,480	1,587	1,657	◎(100%以上)
		109.4%	112.0%			
認知症サポーター養成講座の推進	認知症サポーター養成人数(累積)(人)	29,000	32,000	32,018	36,849	◎(100%以上)
		110.4%	115.2%			
認知症の人を支える家族のつどい「ひだまり」事業	開催回数(回)	13	13	12	13	◎(100%以上)
		92.3%	100.0%			
	延べ人数(人)	190	195	149	169	○80%以上 100%未満
		78.4%	86.7%			
	新規参加者割合(%)	40.0	40.0	22.1	27.1	△50%以上 80%未満
		55.3%	67.8%			
徘徊高齢者保護ネットワーク	配信登録人数(人)	5,000	10,000	337	436	▽50%未満
		6.7%	4.4%			
成年後見制度利用支援事業	市長申立(件)	30	30	14	10	▽50%未満
		46.7%	33.3%			
	申立に要する助成件数(件)	5	6	4	1	▽50%未満
		80.0%	16.7%			
	成年後見人等の報酬に係る助成件数(件)	10	14	2	6	▽50%未満
		20.0%	42.9%			

ク 高齢者虐待の防止

- ◇ 高齢者虐待の発生予防や虐待を受けた高齢者の保護、養護者への支援等の強化に努めるとともに、高齢者虐待を早期に発見し、迅速かつ効果的に支援するために、関係団体や市民等への周知に努めています。
- ◆ 高齢者虐待の相談件数が増加しており、未然に防止するための関係機関との連携強化が必要です。

ケ 地域包括支援センターの運営強化

- ◇ 計画値との乖離はあるものの、内容の充実が図られている事業もあります。
- ◆ 今後は、関係機関との連携強化に努めるとともに、地域包括支援センターの役割に対する周知啓発を更に強化することが必要です。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度		達成率 (計画比)
		計画値 実績値 計画比	計画値 実績値 計画比	計画値 実績値 計画比	計画値 実績値 計画比	
介護予防ケアマネジメント	要介護(要支援)認定率(%)	21.5	21.8	21.1	20.9	◎(100%以上)
		101.9%	104.3%	2,600	4,600	
	介護予防ケアマネジメント数(件)	2,189	1,390	84.2%	30.2%	▽50%未満
		16,200	16,850	19,775	19,968	
総合相談支援	総合相談支援件数(件)	122.1%	118.5%			◎(100%以上)
権利擁護	高齢者虐待に関する相談(件)	800	830	925	1,098	◎(100%以上)
		115.6%	132.3%	605	615	
	成年後見制度に関する相談(件)	968	676	160.0%	109.9%	◎(100%以上)
		190	200	119	68	
日常生活自立支援制度相談(件)	62.6%	34.0%	30	40	▽50%未満	
	26	13	86.7%	32.5%		
包括的・継続的ケアマネジメント支援	介護支援専門員からの相談(件)	1,400	1,450	876	655	▽50%未満
		62.6%	45.2%	4	4	
	老人介護支援センター連絡会(回)	2	2	50.0%	50.0%	△50%以上 80%未満
		40.0	45.0	58.9	38.4	
地域ケア小会議(各地区高齢者支援連携会議)に介護支援専門員から事例提供があった割合(%)	147.3%	85.3%			○80%以上 100%未満	
	2	2	2	2		
地域ケア会議(多職種協働によるネットワークづくり)	地域ケア会議	100.0%	100.0%			◎(100%以上)
		49	54	56	39	
	地域ケア小会議(コミュニティ単位)	114.3%	72.2%	15	18	△50%以上 80%未満
		15	139	100.0%	772.2%	

(2) 重点課題2 健康づくり等と社会活動への参加の推進

施策	全事業数	目標値設定項目数	達成率			
			100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
ア 健康都市推進ビジョンの推進	4	15	1	2	6	6
イ 感染症予防の充実	1	0	-	-	-	-
ウ 生涯学習の推進	1	0	-	-	-	-
エ 生涯スポーツの推進	1	0	-	-	-	-
オ 社会活動への参加促進	3	2	2	0	0	0
合計	10	17	3	2	6	6

(17.6%)

(11.8%)

(35.3%)

(35.3%)

ア 健康都市推進ビジョンの推進

- ◇ 計画値に達していない主な理由は、がん検診については、対象者の変更や自己負担金免除の手続きの変更が影響したものと思われます。
- ◇ 健康チャレンジ事業においては、歩け歩けコースとオリジナルコースを設け、地域や職域に個人及びグループでの参加を呼びかけて実施しました。また、高齢者がいきいきと、健やかに長寿を楽しむために、生活習慣病の予防、心身機能低下（生活不活発病）への対策として、高齢者の健康づくりへの意識啓発や各種介護予防事業の推進を行いました。
- ◆ 生活習慣の改善に対する市民の意識の向上を図り、市民自らの実践につなげることが必要です。
- ◆ 各種がん検診については、がん検診の必要性の周知啓発に努めるとともに、受診者数の向上に努める必要があります。
- ◆ 元気なうちから積極的に介護予防に取り組むとともに、身近な場所で、人々が集い交流できる環境づくりが必要です。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度		
		計画値 実績値 計画比	計画値 実績値 計画比	達成率 (計画比)		
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	胃がん	受診人数(人)	10,300 9,037 87.7%	16,263 8,203 50.4%	△50%以上 80%未満	
		受診率(%)	8.9 7.8 87.6%	14.0 3.2 22.9%	▽50%未満	
	大腸がん	受診人数(人)	41,820 44,030 105.3%	47,628 36,755 77.2%	△50%以上 80%未満	
		受診率(%)	36.0 38.0 105.6%	41.0 14.5 35.4%	▽50%未満	
	肺がん	受診人数(人)	22,370 21,499 96.1%	27,880 19,537 70.1%	△50%以上 80%未満	
		受診率(%)	19.3 18.5 95.9%	24.0 7.7 32.1%	▽50%未満	
	子宮頸がん	受診人数(人)	14,666 13,451 91.7%	16,852 13,619 80.8%	○80%以上 100%未満	
		受診率(%)	32.2 29.6 91.9%	37.0 14.9 40.3%	▽50%未満	
	乳がん	受診人数(人)	11,020 11,234 101.9%	12,854 11,386 88.6%	○80%以上 100%未満	
		受診率(%)	30.0 30.6 102.0%	35.0 16.8 48.0%	▽50%未満	
	特定健康診査 (※H28実績は5月時点 の速報値)	受診人数(人)	46,564 28,340 60.9%	46,564 27,139 58.3%	△50%以上 80%未満	
		受診率(%)	60.0 42.7 71.2%	60.0 42.1 70.2%	△50%以上 80%未満	
	特定保健指導	受診人数(人)	3,857 1,117 29.0%	4,235 1,287 30.4%	▽50%未満	
		受診率(%)	50.0 32.3 64.6%	55.0 35.2 64.0%	△50%以上 80%未満	
	地域で支える健康づくり	元気を広げる人養成講座修了者(人)	635 685 107.9%	675 753 111.6%	◎(100%以上)	

イ 感染症予防の充実

- ◇ 感染症の正しい知識の普及のために、広報たかまつやホームページでの周知啓発と、出前講座や医師等関係者への研修を開催しました。
- ◇ 65歳以上のインフルエンザ予防接種、結核・肺がん集団検診を実施しました。
- ◆ 高齢者は、合併症のある人や感染症に対する抵抗力が弱い人も多いことから、感染症の正しい知識の普及や予防接種の勧奨が必要です。また、結核患者に占める高齢者の割合は高く、高齢者は、結核の特有な呼吸器症状や自覚症状が出にくいことで診断が遅れる事例も見受けられているため、より一層、医療機関や市民への高齢者結核の知識の普及が必要です。

ウ 生涯学習の推進

- ◇ 高齢者の生涯学習への積極的な参加を促進するため、生涯学習センターにおいて高齢者向けの健康づくり・介護・終活等に関する各種講座を開催するとともに、コミュニティセンターなどにおいても高齢者教室等の講座を開催しました。
- ◆ 今後も高齢者の生きがいをづくりや生涯学習への更なる参加を図るため、受講者のニーズを的確にとらえることが必要です。

エ 生涯スポーツの推進

- ◇ 高松市民スポーツフェスティバルや高松市長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会等を開催し、生涯スポーツの推進に努めています。
- ◆ 高松市民スポーツフェスティバルのゲートボール及びグラウンド・ゴルフの参加者数は、年々、減少傾向にあるため、参加資格要件の緩和や開催日程の変更など、参加数の増加に努める必要があります。

オ 社会活動への参加促進

- ◇ 認知症サポーターを対象に、認知症が疑われる人に早く気付くことができ、本人や家族へ相談機関の紹介や、地域での見守りや声掛けの大切さを理解することを目的として、フォローアップ講座を実施しました。
- ◇ 公立保育所・こども園・幼稚園では、地域の自然や行事、清掃活動等の様々な活動を通して高齢者との交流を図りました。また、老人福祉施設等を訪問したり、これらの施設や地域のお年寄りを招待するなどし、劇、季節的行事、手作り玩具制作等を通じて世代間のふれあい活動を行う私立保育施設に対して、補助を行いました。
- ◆ 今後は、認知症サポーターの理解を深め、認知症カフェ等に繋がるボランティアの人材育成が必要です。
- ◆ 老人福祉施設等がない地域での子ども達と高齢者との交流について検討していくことが必要です。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度	平成28年度	
		計画値 実績値 計画比	計画値 実績値 計画比	達成率 (計画比)
特別非常勤講師配置事業	小学校(人) (延べ人数)	60 68 113.3%	60 68 113.3%	◎(100%以上)
	中学校(人) (延べ人数)	10 12 120.0%	10 12 120.0%	◎(100%以上)

(3) 重点課題3 生活環境の整備推進

施策	全事業数	目標値設定項目数	達成率			
			100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
ア 公共交通機関の充実	2	1	1	0	0	0
イ ふれあいの場の確保	5	0	-	-	-	-
ウ 老人介護支援センターとの連携等の強化	1	1	1	0	0	0
エ 災害時の援護体制の充実	3	0	-	-	-	-
オ 市民活動団体との連携等の強化	2	0	-	-	-	-
カ 福祉意識の醸成・啓発	2	0	-	-	-	-
キ 安全で住みよい環境づくりの推進	3	0	-	-	-	-
合計	18	2	2	0	0	0

(100.0%)

ア 公共交通機関の充実

- ◇ 交通系 IC カードを活用し、高齢者の移動支援を行いました。
- ◆ 今後も、電車・バス等の公共交通機関の事業者と協働し、利用促進及び車両のバリアフリー化等、利用しやすい環境づくりについて、協議していく必要があります。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度	平成28年度	
		計画値 実績値 計画比	計画値 実績値 計画比	達成率 (計画比)
公共交通機関等のバリアフリー化	ノンステップバス導入率(年度末現在) (%)	60.0	65.0	◎(100%以上)
		61.0	65.3	
		101.7%	100.5%	

イ ふれあいの場の確保

- ◇ コミュニティ活動の拠点であるコミュニティセンター（平成28年度52か所）において、地域住民の交流が活発に行われるよう、ふれあい交流事業など、高齢者同士や世代間のふれあいの場を確保しました。
- ◇ 老人いこいの家10か所、老人つどいの家11か所、老人つどいの部屋26か所を設置しています。
- ◇ ふれあい福祉センター勝賀、香南ふれあい館、香南地域ふれあいセンターは、多くの方にご利用いただいています。
- ◆ 引き続き、ふれあい交流事業の実施などにより、高齢者同士や世代間のふれあいの場を継続的に確保する必要があります。
- ◆ 施設の老朽化や利便性の向上なども考慮し、地域住民の自主的な活動を推進し、地域全体のつながりを深める活動の場としての活用を図る必要があります。

ウ 老人介護支援センターとの連携等の強化

- ◇ 老人介護支援センターについては、地域包括支援センターのブランチとして、28 か所設置しています。
- ◆ 今後も、老人介護支援センターとの連携をより強化して行くことが必要です。

【事業実績】

主な事業	事業実績	平成27年度		平成28年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値
老人介護支援センター	老人介護支援センター整備見込量(か所)	28	28	28	28
		28	28	28	28
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
					◎(100%以上)

エ 災害時の援護体制の充実

- ◇ 災害時に自力で避難することが困難な高齢者などの要援護者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制を構築するため、災害時要援護者台帳を作成しています。また、地域と要援護者情報の共有を図り、平常時から要援護者に対する見守りや声かけ等、要援護者支援に努めています。
- ◇ 自主防災組織については、平成26年度末に活動カバー率100%となっています。
- ◆ 災害時要援護者台帳を、大規模災害発生時、要援護者の安否確認等に、役立つものとするため、登録情報の更新を行うとともに、未登録者について、制度の周知、啓発を行うなど、登録率の向上を図る必要があります。
- ◆ 新たに65歳となった一人暮らしの方などについて、実態把握に努める必要があります。
- ◆ 地域コミュニティ単位で実施する訓練を支援するため、非常食品を助成するなど、自主防災組織の更なる育成強化を図る必要があります。

オ 市民活動団体との連携等の強化

- ◇ 市民活動の中間支援組織である市民活動センターにおいて、市民活動に関する情報提供等を効果的に行うとともに、市民と行政、市民と市民の協働事業等への取組のコーディネートを行うなど市民活動の促進を図り、多様な主体が地域課題の解決に取り組む場を提供し支援を行いました。
- ◇ 市内コミュニティセンターにおいて、講座の開催や団体活動の運営に必要な知識や、技術の習得を図るため、地域の生涯学習をコーディネートするキーパーソンを養成する生涯学習コーディネーター養成講座を10回開催しました。
- ◆ コーディネート機能、特にマッチング機能の強化をするとともに、多様な主体を巻き込んだ事業への取組の場の提供が必要です。
- ◆ 市民活動を実践する担い手を養成するため、受講者を増やし、かつ講座内容の充実を図ることが必要です。

カ 福祉意識の醸成・啓発

- ◇ 小中学校の総合的な学習の時間を活用し、高齢者施設での交流やボランティア活動、高齢者疑似体験などを通して、高齢者理解、福祉についての学習を深め、今後の社会の在り方について考える活動をしました。
- ◇ 広報紙を始め、市政出前ふれあいトークなどの様々な広報活動を通じて福祉意識の醸成・啓発に努めました。

- ◆ 小中学校において、地域の人材を有効活用し、児童生徒の体験活動の充実を図りながら、探求的な学習を進めていく必要があります。
- ◆ 今後も、広報紙などの広報活動等を通じて、分かりやすく、タイムリーに情報提供し、福祉意識の醸成・啓発をしていくことが必要です。

キ 安全で住みよい環境づくりの推進

- ◇ 一人暮らし高齢者の火災防火のため、住宅防火診断を実施しました。
- ◇ 高齢者の消費者被害防止のため、関係機関と連携する中で、消費生活出前講座などを通じた広報啓発・情報提供活動等の推進に努めました。
- ◇ 高齢者の交通事故防止のため、高齢者交通安全教室・シルバードライバーズスクール等の開催や、夜間の交通事故防止に役立つ反射材の使用促進のための体験教室などにより、交通安全意識の啓発と交通マナーの向上に努めました。
- ◆ 引き続き、一人暮らし高齢者の火災予防のため、住宅防火診断の実施が必要です。
- ◆ 高齢者を狙った還付金詐欺等の未然防止に役立つ講座を開催することが必要です。
- ◆ 高齢者向けの交通安全教室を拡充することが必要です。